

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112M005	家庭経営学(家庭経済学及び家族関係学を含む。)(Home Economics)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 川田菜穂子, 齊藤友子 E-mail kawata@oita-u.ac.jp(川田), tsaito@oita-u.ac.jp(齊藤) 内線 7608(川田),											
授業の概要	家族という社会単位の機能や様々な形態を知るとともに、社会・経済・環境条件の変化に対応した家庭生活を自ら創り出すために必要な知識や実践的態度を育む。さらに、中学校家庭科の家庭経営領域に関する授業について、有効な教材や実践手法を検討する。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	家庭・家族の機能や役割、多様な形態を説明できる。																
目標2	現代の家庭・家族が抱える諸課題を把握し、改善手法を検討することができる。																
目標3	習得した知識を応用して、授業実践につなげることができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	オリエンテーション																
2	家庭・家族の機能・役割																
3	家族に関する基礎的用語																
4	現代社会の家族の問題																
5	子育てと地域社会																
6	高齢者と地域社会																
7	少子高齢社会における高齢期の生活と家族関係																
8	生活時間																
9	多様化するライフコースと生活設計																
10	家庭経済の役割																
11	家族と家計・資産																
12	リスクと社会保障																
13	格差と貧困																
14	家庭経営と住まい																
15	これからの家庭経営																
ラ ー ク ニ テ ィ ン グ 	A:知識の定着・確認	ワークシート、グループ討議、発表					工 夫 そ の 他 の										
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	配布資料や新聞等を使って、子どもや高齢者、家族・家庭の諸問題について予習する(15h)															
	事後学修	討議やワークシート等を振り返りレポートを作成する(10h)															
教科書	教科書を指定しない。 授業資料を配布する。																
参考書	赤星礼子(編)『新版 生活経営学』(九州大学出版会、2013年) 野々山久也(編)『論点ハンドブック 家族社会学』(世界思想社、2009年)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業への参加姿勢	40%															
	演習	30%															
	レポート	30%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	齊藤友子（カウンセラー）
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	後藤慎司（元児童相談所長）
実務経験を いかした教 育内容	地域における母子支援（相談業務）に関する知識と技術を習得する。児童虐待等家庭における問題を地域システムの視点から考察する